

# 全国福祉用具相談・研修機関協議会

## 平成30年度全国会議 開催要項

### 1 目的

第5回目の全国会議は、協議会の掲げるテーマ①在宅・施設等での福祉用具利用、②福祉用具相談が行える場づくり、③福祉用具に関わる人材の養成の中で、①を昨年度に引き続き取り上げ、新たな方針・方向性について検討します。

検討テーマ1は、施設における災害避難について、特に避難器具の問題点とそのあり方を検討します。

また、検討テーマ2は、施設での見守り機器が介護報酬加算となりましたが、利用者のプライバシーや安全の面において一定の考え方が定まっているわけではないので、その倫理性と安全性について検討し、その方向性を見出します。

以上の議論を通し、「全国福祉用具相談・研修機関協議会」として、新たな方針・方向性を打ち出すと共に、内外へ提言することを目的に全国会議を開催します。

### 2 主催

全国福祉用具相談・研修機関協議会

### 3 期日

平成30年11月1日（木）13時～11月2日（金）12時40分

### 4 会場

KKR ホテル大阪（大阪国家公務員共済組合連合会 大阪共済会館） 2階 星華の間  
〒540-0007 大阪府大阪市中央区馬場町2-24

### 5 参加対象者

- (1) 全国福祉用具相談・研修機関協議会会員
- (2) 介護実習・普及センター所長等の代表者並びに職員
- (3) 都道府県及び政令指定都市の関係職員
- (4) リハビリテーションセンターの関係職員
- (5) 福祉用具展示場の関係職員
- (6) 福祉用具相談機関の関係職員
- (7) 福祉用具研修機関の関係職員
- (8) その他関係者（病院・施設・訪問等での福祉用具相談・研修担当者等）

### 6 日程

別紙「プログラム」のとおり

## 7 参加費（税込）

福祉用具相談・研修機関協議会会員 参加者一人につき 2,000円

福祉用具相談・研修機関協議会非会員 参加者一人につき 12,000円

※会員1団体につき参加者は、原則3名までとさせていただきます。

4名以上希望の場合は事務局までお問い合わせください。

## 8 情報交換会費（税込）

参加者一人につき 5,000円

## 9 参加費等の支払い方法

ご請求書を発行しますので、指定の銀行口座へ振込をお願いします。

振込手数料はご負担願います。銀行払込受領書をもって領収書に代えさせていただきます。

## 10 参加申込み方法

別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、平成30年9月18日（火）までに下記事務局まで郵送またはメール、FAXにてお申し込みください。

## 11 その他

### 【申込み・問い合わせ先】

全国福祉用具相談・研修機関等協議会 事務局

公益財団法人テクノエイド協会（担当：湯浅）

住所：〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階

電話：03-3266-6884 FAX：03-3266-6885

Eメール：[fukyu@techno-aids.or.jp](mailto:fukyu@techno-aids.or.jp)

全国福祉用具相談・研修機関協議会 平成30年度全国会議プログラム  
 【第1日目】 11月1日 (木) (敬称略)

時間	プログラム
11:30 ~12:15	全国福祉用具相談・研修機関協議会 総会 議長：全国福祉用具相談・研修機関協議会 代表 記虎 孝年 (公益社団法人関西シルバーサービス協会 理事長)
12:30	受付
13:00	開会式 全体進行：全国福祉用具相談・研修機関協議会 事務局 寺光 鉄雄 (公益財団法人テクノエイド協会 調査監) 開会の辞：全国福祉用具相談・研修機関協議会 代表 記虎 孝年
13:10 (各30分)	会員緊急提言： ①「高齢者施設における避難具の実態と課題」 階段避難車安全推進協議会 代表 美澤 暁彦 ②「福祉用具供給システムの現状と課題（車椅子・座位保持装置）」 一般社団法人日本車椅子シーティング協会 研修委員 松野 史幸
14:10 (各20分)	会員報告： ①「我が国の補聴器の普及に関する調査（Japan Trak 2018）報告」 一般社団法人日本補聴器工業会 副理事長 赤生 秀一 ②「特養における職員配置やケアの方法が与える職員への心理的・身体的な影響」 一般社団法人日本ユニットケア推進センター センター長 秋葉 都子
14:50	休憩
15:00	避難具デモ①「階段避難車安全推進協議会会員企業5機種」 階段避難車安全推進協議会 代表 美澤 暁彦
15:15	避難具デモ②「エスケープポッド」 株式会社インジェニティー 代表取締役 藤田 郁栄
15:30	休憩
15:40	テーマ別検討1：「高齢者施設等と避難器具（福祉用具）について」 大規模災害発災時の避難行動要支援者の避難に係る環境整備についての議論は、避難所の環境整備に比して余り議論されていません。そこで今回、避難行動要支援者の垂直方向の避難行動に資する福祉用具支援の在り方について議論を深め、何らかの提言につなげることができればと考え本分科会を企画しました。 進行：全国福祉用具相談・研修機関協議会 監事 田中 康之 (千葉県千葉リハビリテーションセンター 地域リハ推進部長) 報告者： ①階段避難車安全推進協議会 代表 美澤 暁彦 ②NPO法人日本防火技術者協会 理事 栗岡 均 ③総務省消防庁予防課 違反処理対策官（併）課長補佐 鈴木 健志 ④社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 リハ技術部部長 大垣 昌之
17:20	第1日目終了（移動）
17:40~ 19:40	情報交換会 進行：全国福祉用具相談・研修機関協議会 副代表 中村 健治 (福祉用具プランナー研究ネットワーク 相談役)

【第2日目】 11月2日（金）

時 間	プ ロ グ ラ ム
9 : 2 0	調査報告： 「特養における利用者のQOLと個別ケアの実態」 全国福祉用具相談・研修機関協議会 副代表 田上 優佳 （社会福祉法人播陽灘 特別養護老人ホームいやさか苑 施設長）
9 : 5 0	行政説明： 高知県「ノーリフティングケア宣言」への挑戦 地域福祉部地域福祉政策課福祉・介護人材対策室 主幹 茅野 優子
1 0 : 2 0	休 憩
1 0 : 3 0	テーマ別検討2： 「見守り機器・ロボットと適用、特に倫理と安全について」 国のロボット産業政策の中で、介護ロボットに注目が集まっています。その中で、社会福祉施設従事者の負担軽減の観点から、施設での見守り機器・ロボットの導入に対し、介護報酬加算となりましたが、利用者のプライバシーや安全の面について一定の考え方が定まっているわけではありません。 そこで、本セッションでは、施設・在宅で使用される見守り機器の倫理性とその安全性について検討し、その方向性を見出そうとするものです。 進行役：全国福祉用具相談・研修機関協議会 副代表 中村 健治 報告者： ①株式会社テクノスジャパン 代表取締役社長 牛谷 定博 ②社会福祉法人三篠会 介護老人保健施設ひうな荘 リハビリ部長 森山 由香 ③広島大学大学院文学研究科 助教 岡本 慎平
1 2 : 0 0	休 憩
1 2 : 1 0	総括 公益財団法人テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策
1 2 : 3 0	閉会式（挨拶）： 全国福祉用具相談・研修機関協議会 副代表 田上 優佳
1 2 : 4 0	終了予定

# 会場ご案内図

KKR ホテル大阪



KKR ホテル大阪 アクセス

JR環状線「森ノ宮駅」下車 北出口より西へ徒歩10分

地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮駅」下車 7番B出口より西へ徒歩10分

地下鉄中央線・谷町線「谷町四丁目駅」下車 9番出口より東へ徒歩10分

〒540-0007 大阪府中央区馬場町2-24 TEL:06-6941-1122